

平成28年度 事業報告

メインテーマ「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」

(公社) 仙台市老人クラブ連合会は平成28年度も全国老人クラブ連合会の「健康・友愛・奉仕」の三大目標を掲げ活動を行った。さらに「高齢者の健康づくり」「介護予防」「生きがいづくり」事業にも力を入れて行った。

平成28年度の仙老連の各専門部は、今までに増して真剣に話し合いを重ねて、活動に取り組んだ。

若手委員会は、若手リーダー養成講座の運営や企画講演会と次世代を担う会員の育成に力を注ぐとともに、仙老連のホームページも担当し広報活動にも力を入れて取り組んだ。

企画広報部会は、機関誌「仙老連」の編集方針を仙老連の情報発信に力点を置いて工夫し、発行するとともに、情報紙「伊達なクラブ仙台」の発行も行った。

教養文化部会は、「脳の健康づくり研修会」のテーマについてより役立つものを考え、12月15日に「睡眠と健康づくり」を実施した。

保健体育部会は、健康づくりの行事等を楽しめるように、「グラウンド・ゴルフ」・「ゲートボール・ペタンク」・「体育祭」を、昨年の反省を生かして準備を入念に行い実施した。

女性部会は、「企画講演会」「女性部研修会」の内容を工夫して実施した他、区老連及び地区老連の女性部の活動や組織についてアンケートを実施、女性部の現状を把握し、会員増強にも努めた。

会員の高齢化が進む中で、高齢者相互支援活動委員会では、相互支援1年目ではあるが各地区共に工夫した取り組みを行い、支援の充実に努めた。

団塊の世代が高齢者の仲間入りをし、国民の4人に1人が65歳以上の高齢者といわれる今日だが、老人クラブの会員は増加せず、逆に減少の一途をたどっている。

この会員減少に対して何とか歯止めをかけようと、仙老連として、所属する単位老人クラブの実態を把握すべく、平成28年度、総務部会発案で「単老実態調査」を実施し、現状に目を背けることなく、課題の洗い出しを始めた。

総務部会で区ごとに調査結果をまとめて区老連の課題を洗い出し、それを持ち寄り、仙老連全体として取り組むべき課題と対応策について話し合いを行って、「単老実態調査」を継続し、経年変化を見ながら対応、検討に入る方針を打ち出した。

課題に対してできることは少しずつ実行していこうとしているところである。

平成28年度の会員増強の取り組みの中で、仙老連の愛称募集の提案があり、会員を対象に「愛称」募集を実施した。500件を超える応募の中から愛称審査委員会が愛称「伊達なクラブ仙台」を選定、正副会長会を経て理事会の承認を受け、正式に決定された。

仙老連の事業をさらに魅力的なものとし会員増強が図れるよう到来年度に向けてもより良い事業展開ができるように努めていくこととしている。

事業実施状況

1 会議

- (1) 通常総会 1回 仙台市シルバーセンター 1F 交流ホール
- ①平成 28 年 5 月 26 日
- ・平成 27 年度事業報告並びに収入支出決算について
 - ・平成 28 年度事業計画並びに収入支出予算について
 - ・定款の変更について
 - ・役員候補について
- (2) 理事会
- ①平成 28 年 5 月 10 日 (第 1 回)
- ・仙台市老人クラブ連合会会長表彰について
 - ・通常総会提出議案について
 - ・運用基金の取り崩し及び一般会計への振り替えについて
 - ・救援拠金の使途計画について
 - ・熊本地震災害救援拠金への協力について
 - ・正会員の入会承認について
- ②平成 28 年 5 月 26 日 (第 2 回)
- ・仙台市老人クラブ連合会役員の紹介について
 - ・仙台市老人クラブ連合会専門部員の紹介について
- ③平成 28 年 6 月 28 日 (第 3 回)
- ・会員増強対策、脱会クラブ、解散クラブ、高齢による脱会者を防ぐための対応について
- ④平成 28 年 9 月 13 日 (第 4 回)
- ・仙台市老人クラブ連合会愛称募集について
 - ・調査結果の利用について (区老連、仙老連事務局として)
 - ・調査結果をどのように会員増強につなげるか
- ⑤平成 28 年 12 月 22 日 (第 5 回)
- ・平成 28 年度事業報告について
 - ・平成 29 年度事業計画(案)並びに予算(案)について
 - ・規程の変更について
- ⑥平成 29 年 3 月 10 日 (第 6 回)
- ・平成 28 年度事業報告について
 - ・平成 29 年度事業計画(案)について
 - ・平成 29 年度予算(案)について
 - ・定款施行規則の一部変更(案)について
 - ・各区老連からの専門部員の構成(案)について
 - ・各区老連からの専門部員、委員の選出について
 - ・平成 29 年度通常総会の開催について
- (3) 監事会
平成 28 年 4 月 21 日
- ・平成 27 年度事業並びに収入支出決算監査について
- (4) 正副会長会 (毎月)
- (5) 専門部会
総務部 2 回 臨時 6 回、企画広報部 3 回 臨時 3 回、教養文化部 3 回 臨時 2 回、
保健体育部 2 回 臨時 2 回、女性部 4 回 臨時 2 回
- (6) 若手委員会 6 回、臨時 3 回
- (7) 高齢者相互支援活動委員会 2 回
- (8) 愛称審査委員会 (愛称募集) 3 回
愛称決定「伊達なクラブ仙台」
- (9) 全国老人クラブ連合会関係
- ①都道府県・指定都市老連会長会議 (12/6~7)

- ②都道府県・指定都市老連事務局長会議（第1回 7/4～5、第2回 2/8）
- ③活動推進員担当者会議（8/8）
- ④全老連女性委員会議（5/17、10/5～6）
- ⑤全老連評議委員会議（6/15、3/14）

2 研修会

(1) 仙老連研修

- ①若手委員会人材養成研修（全9回） 6月29日～8月31日
 若手リーダー養成講座 第4期生 仙台市福祉プラザ 受講生22名
 - ・講 義
 「養成講座の目的（ねらい）」 仙老連 次長 國井 恵子
 - ・研 修
 「行事を企画するために（心と身体の開放）」
仙台市レクリエーション協会 加藤 淳子 氏
 - ・講 演
 「中央リーダー研修会に参加して」 若手委員会副委員長 菱 沼 俊 行
 - ・パソコン教室（7月6日～8月10日 全6回）の実施
講師：福沢パソコン同好会
 ワードを学ぼう・ワードで文書を作ろう・エクセルを学ぼう
 文書作成と表計算（案内文や会計など具体的な内容で）
 それぞれのパソコンを用いて
- ②若手委員会企画研修会 9月26日
 - ・講 演 仙台市福祉プラザ 参加者48名
 「手ごたえのある生き方」 講師 渡 邊 一 雄 氏
 - ※平成25～26年度若手委員、平成25年～27年度若手リーダー養成講座受講者、
 区老連会長、総務担当者も参加
- ③女性部企画研修会 9月27日
仙台市民会館 参加者668名
 - ・講 演「素顔の伊達政宗」
講師：元仙台市博物館 館長 佐藤 憲一 氏
- ③新任単位老人クラブ会長研修会 8月1日
仙台市シルバーセンター6階 第2研修室 参加者49名
 - ・講 義「(公社) 仙台市老人クラブ連合会の組織と助成金等について」
仙老連事務局次長 國井 恵子
 - ・グループディスカッション（情報交換、各グループ発表）
- ④地区老連役員研修会及び単位クラブ役員研修会 各区老連にて開催
- ⑤女性部研修会 12月6日
仙台市シルバーセンター6階 第2研修室 参加者94名
 - ・第1部 講習会「健康生活バランスセミナー」 指導：ポコラヴィプロジェクト
 - ・第2部 グループ討議「地区老連の女性部の活動」について
～地区老連女性部の活動を活発にするためには～

(2) 全老連関係研修

- ①北海道・東北ブロック老人クラブ連合会会長・事務局長会議 4月14日～15日
宮城県仙台市 ホテル緑水亭
- ②東北ブロックリーダー研修会 7月14日～15日
秋田県鹿角市 ホテル鹿角
参加者 29名
- ・基調報告 「老人クラブ組織の発展に向けて」—全国運動、構想提案等—
 - ・グループ討議「新規クラブをどう立ち上げる？」
 - ・事例発表 「会員増強の取り組みについて」
岩手県盛岡市西青山三丁目かつらぎ会 会長 佐藤 忍
宮城県石巻市老人クラブ連合会 会長 武山 萬
秋田県八峰町老人クラブ連合会 会長 工藤 哲弥
 - ・講演 「心豊かな少子・高齢社会に向けて」 秋田県副知事 堀井啓一氏
- ③北海道・東北ブロック老人クラブ連合会活動推進員事務担当者会議 9月8日～9日
仙台市シルバーセンター5階 会議室
- ④第29回全国健康福祉祭ながさき大会 10月15日～17日
ねんりんピック長崎2016 長崎県内 仙台市選手団156名
- ・水泳応援・地域文化伝承館視察 (仙老連3名)
- ⑤第45回 全国老人クラブ大会 11月9日～10日
富山市芸術文化ホール(オーバード・ホール) 参加者 1,300名
(仙老連4名)
1. 活動交流部会
 2. 式典 <全国老人クラブ連合会会長表彰>
 - ・育成功労表彰 泉区 松坂 尚
 - ・育成功労表彰 宮城野区 菊池美智子
 - ・優良老人クラブ表彰 太白区 八興クラブ
 - ・優良老人クラブ連合会表彰 宮城野区高砂地区老連
- ⑥女性リーダーセミナー 東京全社協ビル 10月5日～6日
女性部長 坂田 祐子
- ・基調報告 「老人クラブ組織の発展に向けて—全国運動、行動提案等」について
 - ・行政説明 「新地域支援事業(新しい介護予防・日常生活支援事業)」について
 - ・事例発表 ①会員増強に向けた取り組み
 - ・事例発表 ②高齢消費者被害防止に向けた取り組み
 - ・分散会 テーマ「会員増強運動～休会、解散クラブを防ぐ取り組み」
 - ・全大会 分散会報告をもとにフロアからの情報・意見交換

3 広報活動の推進

(1) 機関誌「仙老連」の発行

企画広報部員による編集会議を開き、全クラブ会員へ配布(年2回)

区役所、市民センター等に配置、全老連を通して各県老連、政令市老連へ配布

①第112号 平成28年7月1日発行(14,000部) 16ページ

仙老連会長あいさつ

通常総会・理事会・平成28年度事業計画

仙老連活動情報発信

グランパ・グランマって物知り、いつまでも元気で生活する為に

4 会員加入増強対策の取り組み

(1) 仙老連会員増強計画の策定

(2) 新規会員・クラブ獲得に対する表彰と奨励金の交付

- ・新規会員の純増数 5 区 30 クラブ 161 名
- ・新規加入クラブ数 1 区 1 クラブ 18 名

5 関係団体との連携強化

(1) 仙台市、健康福祉事業団、シルバー人材センター並びに社会福祉協議会、地域包括支援センターとの連携協力

(2) 警察署、消防署、仙台市消費生活センターとの連携強化

(3) 平成 29 年新春交流会の開催

平成 29 年 1 月 12 日
パレスへいあん 参加者 77 名

6 地域社会貢献、世代間交流活動の推進

高齢者が培った豊かな経験、知識、技術を生かすとともに若い世代の人たちと活動を共にし、相互の理解を深め合う世代間交流を推進

(1) 活動内容

< 伝承活動、世代間交流 >

七夕作り、しめ縄作り、昔遊び伝承、茶道教室、餅つき、そば打ち、カレー作り

< 友愛・ボランティア活動 >

声掛け安否確認、一人暮らし訪問、茶話会、福祉施設慰問交流

< 環境美化、リサイクル >

花壇花植え、町内花プランター設置、公園清掃

(2) 実施件数

101 件

(青葉区 21 件、宮城野区 11 件、若林区 14 件、太白区 33 件、泉区 22 件)

7 社会奉仕活動の推進

(1) 「社会奉仕の日」 9 月 20 日前後 1 週間を重点的に活動

(2) 通年活動の実施 (5 区 45 地区)

8 健康づくり活動の推進

(1) 第 8 回グラウンド・ゴルフ大会

7 月 29 日

シェルコムせんだい 参加総数 330 名

(成績) < 男子の部 >

< 女子の部 >

優勝 笠嶋 俊夫 (青葉区) 優勝 飯野登志子 (若林区)

準優勝 庄子 孝 (青葉区) 準優勝 末永郁子 (宮城野区)

優秀賞 加藤 晋 (太白区) 優秀賞 神永イシ (泉区)

優良賞 坂爪 卓 (泉区) 優良賞 岩崎和枝 (太白区)

敢闘賞 木皿栄五郎 (宮城野区) 敢闘賞 坂爪友子 (泉区)

※最高齢選手 山岸 公夫 (太白区)、林 春江 (青葉区)

(2)第36回ゲートボール大会及び第10回ペタンク大会 9月2日
 シェルコムせんだい 参加総数 330名

<ゲートボール> コート5面 24チーム参加 149名

(成績)優勝 宮城西 (青葉区) 準優勝 上野山さくら会 (太白区)

優秀賞 みやぎ台萩の会 (青葉区) 優良賞 下荒井ほのぼの会 (若林区)

敢闘賞 あげぼの会 (太白区)

※最高齢選手 久保清悟 (若林区)、石山信子 (太白区)

<ペタンク> コート16面 32チーム 108名参加

(成績)優勝 アタック (青葉区) 準優勝 八乙女長寿会 (泉区)

優秀賞 中山東寿会B (青葉区) 優良賞 ひまわり (青葉区)

※最高齢選手 丹野 實 (若林区)、佐藤君枝 (若林区)

(3)第52回 仙老連体育祭の開催 10月7日

①仙台市体育館 競技・演技9種目 参加総数 2,232名

五区の老人クラブ会員代表が、市体育館に集い、スポーツ競技や集団演技を通して、高齢者の健康づくりと老人クラブ活動の理解を高める事業である。

区老連対抗として3種目の競技に点数を設け、優勝した区老連にはトロフィー授与を行い、より一層の団結と盛り上がりが見られた。(優勝区老連 若林区)

(4)高齢者ウォーキングの実施 (通年) 251回実施
 (青葉区35回、宮城野区15回、若林区20回、太白区102回、泉区79回)

(5)六和功普及会の育成

六和功とは中国太極拳24式から長所を取り入れ六つの型に工夫した健康運動法である。

①六和功教室の開催 各地域、各地区老連への実技指導を展開し普及

②イベント参加 高齢者いきがい健康祭、仙老連体育祭

(6)体力測定事業の実施 (各区年2回、春・秋)

各区市民センター(6会場) 参加者延 708名

高齢者が自分の体力レベルを知ることは、健康づくり、介護予防を推進するにあたり重要である。本事業は区において50名程度の参加者を募り、保健体育部員、シルバースポーツ推進員の指導のもと、年2回6種目について体力測定を行い、筋力や全身持久力、バランス能力などを計測し、結果を今後の健康づくり介護予防に資する。

会員を対象とした事業ではあるが、一般高齢者でも参加したいとの申し込みを受け付けており不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与している。

さらに、体力測定の測定器具の点検や安全で正確な測定ができる知識や技能の取得として、体力測定養成研修も併せて行うものである。

(7)第32回 シルバースポーツセミナーの開催 (全3回) 6月7日~24日

本事業は、高齢者が心と身体のレクリエーションを通して日常生活の健康づくりと介護予防のきっかけ作りを行う。市政だよりに掲載し、一般高齢者にも参加を呼びかけ地域住民相互の親睦と老人クラブ活動の充実を図る。

【なお一般参加者から参加費100円徴収】

全市9会場 参加者 延べ1,858名

台原	木町通	落合	宮城西	宮城野区中央
166	98	186	124	277
若林	太白午前	太白午後	黒松	
336	228	202	241	

- (8)第17期 シルバースポーツ推進員養成講座(全14回) 10月12日～11月28日
仙台市福祉プラザ、仙台市シルバーセンター 参加者33名
生きがい・健康づくりを推進するリーダーの養成 地域の中で高齢者の生きがい・健康づくり事業を展開し、高齢者の健康増進を図るために実施した。

<講師一覧>

- ・仙台大学名誉教授 本多弘子氏 ・東北大学大学院工学研究科 永富良一氏
- ・青葉区体育館館長 渡邊克文氏
- ・宮城県グラウンド・ゴルフ協会会長 鈴木陸男氏
- ・仙台レクリエーション協会 加藤淳子氏、黒田スミ子氏、長谷敦子氏
- ・仙老連会長 橋本典子、副会長 柴田耕治、推進員 高橋富子

- (9)体力測定フォローアップ研修会 12月27日
仙台市シルバーセンター 7F 第1研修室 参加者101名
体力測定の意義と健康寿命を支えるための日々の簡単な運動について研修する。

- (10)仙老連推奨 宿泊施設ガイドブック「みちのく湯ったり紀行」
福島県、宮城県、山形県の協賛旅館 16社掲載 900部発行、配布
手ごろな料金で質の良い利用ができる温泉旅館を紹介し、健康づくり、生きがいづくりに供する。

9 教養文化活動の推進

- (1)健康歌謡教室の開催(全7回) 6月3日～7月28日
仙台市台原老人福祉センター 受講者46名
老人クラブ会員の健康増進、友愛活動、地域活動の活性化を図るため事業の一環として開催する。

講師:<コーラス>伊達忠敏氏 <歌謡曲>滝本耕平氏

- (2)合唱団シルバースターズの育成 団員39名
<出演報告>

- ・青葉はつらつ明老祭、台原交流祭に参加発表

- (3)脳の健康づくり研修会 平成28年12月15日
仙台市シルバーセンター1階 交流ホール 参加者232名
・講演:「睡眠と健康づくり」について

講師:東北福祉大学教育学部 准教授 水野 康 先生

10 在宅福祉を支える活動の推進

- (1)高齢者相互支援活動委員、モデル地区老連合同打ち合せ(6月、11月) 2回
5区のモデル地区代表者と高齢者相互支援活動委員が2年目の事業推進に向け、昨年の反省を踏まえ意見交換を行い、友愛訪問チームで声掛け等の活動を行う。

- (2)高齢者相互支援活動リーダー研修会 平成29年1月24日
仙台市シルバーセンター1階 交流ホール 参加者218名

①「新しい総合事業について」

仙台市健康福祉局保険高齢部高齢企画課 課長 下山田健二氏

②高齢者相互支援活動指定モデル地区1年目の活動発表

- 青葉区吉成地区老連、宮城野区鶴ヶ谷地区老連、若林区南材地区老連、太白区郡山地区老連、泉区中央地区老連

<主な活動内容>

- ・訪問（話し相手、声掛安否確認、家事援助、日常生活援助、外出援助） 延 3,432 回
- ・サロン開催 228 回

1 1 仙台市関連事業

- (1) 第 50 回仙台市社会福祉大会への参加 8 月 30 日(台風のため中止)
仙台市長表彰(社会福祉団体) 仙台市福祉プラザ

青葉区	大和	林市	太白区	大友	満男
太白区	庄子	喜朔	泉区	石川	昇
泉区	小林	保博	泉区	松坂	尚
泉区	佐々木	邦生	泉区	佐々木	覺

- (2) 仙台市、健康福祉事業団主催の行事への参加協力

- ・高齢者生きがい健康祭 10 月 1 日

勾当台公園市民広場 来場者 約 10,000 名

<ステージ発表>いきいきクラブ体操、二輪草、仙台音頭の出演

六和功 団体演技披露

<ブース> 青葉区 豚汁、産直野菜販売、コーヒーコーナー

若林区 福幸だるま、折り紙の作品作り

- (3) 全国交通安全運動出発式・街頭キャンペーン、パレードへ参加

春、秋の 2 回 参加者延 200 名